

日本地衣学会 ニュースレター

No.147

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 会務報告	549
日本地衣学会評議員会（2017年7月15日）議事録／竹仲 由希子 ..	549
日本地衣学会第16回大会総会（2017年7月15日，高知市）報告／	
竹仲 由希子	551
日本地衣学会第16回大会に参加して／山口 遼	552

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会評議員会（2017年7月15日）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting at Kochi, 15 July 2017 / by TAKENAKA Yukiko

>>>>>> 竹仲 由希子（庶務幹事）

日時：平成 29 年 7 月 15 日（土） 午前 10 時 00 分
～13 時 15 分

場所：高知大学 理工学部 情報科学棟 1 階共通講義
室 4

参加者：（議長）河原 秀久，（評議員）山本 好和，
原田 浩，中嶋 裕之，（会長）棚橋 孝雄，（役員）竹
仲 由希子，原 光二郎，（編集委員長）小峰 正史，（オ
ブザーバー）木下 靖浩

* * *

1. 2016 年度事業報告

1. 会員数は、2017年7月8日 現在 164名（一
般 114，学生 15，海外一般 21，海外学生 5，有功
1，団体 2，名誉 6）で、昨年より 11 名の減少であっ
た。複数年にわたる年会費未納者，および連絡不能者
（主に学生会員）の整理をおこなったことにより，普

段より会員の減少数が多くなった。

2. 以下の報告が承認された。

(1) 主催大会，観察会

① 日本地衣学会第 15 回大会・シンポジウム（ニュー
スレター No.134）が，川上 紳一先生（岐阜聖徳学
園大学）を大会委員長として，岐阜大学教育学部（岐
阜市柳戸）にて 7 月 16～17 日（参加者：31 名，演
題数：一般講演 11 題・シンポジウム 3 題）に開催さ
れた。懇親会は岐阜大学第 2 生協で開催され 28 名が
参加した。

② 第 15 回学会主催観察会が奈良県天川村洞川温泉，
御手洗溪谷にて，10 月 1 日～2 日（参加者：7 名）
に実施された。

(2) 学会誌の刊行

① 学会誌 *Lichenology* 第15巻1号(2016年8月6日), 2号(2016年12月26日)が発行された。

② 日本地衣学会 ニュースレター発行 No.132~141

(3) 委員会報告

① 地域活性化委員会: ワークショップは開催していない。第40回青空地衣教室が川辺ダム下および飛水峡にて、7月18日(参加者: 18名)に実施された。

② 学術交流委員会: 自然史学会連合に平成28年度分担金20,000円を支払った。日本分類学会連合に分担金10,000円を支払った。

③ ホームページ運営委員会: サーバー移転・サイトリニューアルがおこなわれた。昨年に引き続き、学会活動の広報、Twitterの活用について報告があった。

④ 日本の地衣フロラ解明プロジェクト: 現在グループとしての活動は行っていないが、第1回分類ワークショップで扱った広義ムカデゴケ属については、*Lichenology*に「日本地衣類誌(4)~(7)」として掲載された。

II. 2016年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

III. 入・退会者承認

入会および退会者について承認された。

IV. 2017年度事業計画

1. 主催大会、観察会

(1) 日本地衣学会第16回大会(高知)が松井 透大会委員長(高知大学)によって、高知大学理学部(高知市曙町)にて、7月15日~16日に開催。

(2) 第16回学会主催観察会が、奥日光(栃木県日光市)にて、9月2~3日に実施。

2. 印刷物発行(編集委員会)

(1) 学会誌 *Lichenology* 第16巻1号(6月

15日), 2号(12月予定)

(2) 日本地衣学会 ニュースレター(142-145号, 他随時)

3. 委員会報告

(1) 地域活性化委員会

・第41回青空地衣教室が、工石山(高知市)にて、7月17日に開催。

・第13回秋田ワークショップが、秋田県立大学にて9月5~7日(予定)に開催。

(2) 学術交流委員会

・自然史学会連合講演会が8月19日に大阪市立自然史博物館にて開催されるため、地衣学会としての出展を検討中であるとの報告があった。

・日本分類学会連合への対応も引き続きおこなっている。

(3) ホームページ運営委員会

(4) 国際学会対応委員会

・国際菌学会が来年プエルトリコで開催される。8月に中国地衣学会(昆明), 10月にアジア菌学会(ベトナム)開催。

(5) 日本の地衣フロラ解明プロジェクト

・現在、イワノリ科についてまとめているところである。

V. 2017年度予算案

予算案は承認された。

・夏の大会時に当年の予算案を審議するのは遅すぎるため、来年からは、決算書の作成ならびに会計監査が1月31日までであることを踏まえ「2月に評議員会にて予算案を審議し、大会時には中間報告をする」ことが承認された。

VI. 審議事項

1. 会則等の整備

会則の、全項にわたる体裁、運用上の問題点を議論し、整備をおこなった。

(詳細は、後報にて)

2. 名誉会員候補の推薦

名誉会員として、山本 好和先生(推薦者:小峰 正史先生)、高橋 邦夫先生(推薦者:木下 薫先生)の推薦書が提出され、評議委員会で審議の上、会長により総会にて推薦することが報告された。

3. 次期会長及び評議員選挙について

評議委員会より、次期会長として 千葉県立博物館の原田浩氏を推薦することを決定した。

棚橋会長より、選挙管理委員長として 宮川 恒氏、選挙管理委員として 濱田 信夫氏が推薦された。

実施日程は、会則(下記)に従い説明された。

8月中に最新名簿、会長立候補用紙を送付

8月末日 会長立候補受付締切

9月上旬 会長選挙投票用紙の送付

9月下旬 会長選挙投票締切、翌日開票

10月末日 幹事、編集委員長の指名

11月上旬 評議員選挙投票締切、翌日開票

12月末日 追加評議員、議長、監事選出

4. 第17回日本地衣学会大会開催場所および日程について

下記のように決定した。

日時:2018年9月1日(土)~2日(日)

会場:栃木県立博物館

大会委員長:坂井 広人 氏(栃木県立博物館)

第18回日本地衣学会大会については、大阪府大の古田先生に打診している旨、報告があった。

日本地衣学会第16回大会総会(2017年7月15日、高知市)報告

Report of the General meeting at 16th Annual Meeting of the Japanese Society for Lichenology (Kochi, 15 July 2017) / by TAKENAKA Yukiko

>>>>>>> 竹仲 由希子(庶務幹事)

日本地衣学会第16回大会総会を2017年7月15日、高知大学理学部にて開催いたしました。棚橋孝雄会長より挨拶があり、引き続き竹仲庶務幹事が当日午前中に開催された評議委員会での報告事項、審議事項、承認事項について報告いたしました。棚橋会長より、山本先生、高橋先生の名誉会員への推薦がなされ、両

先生とも満場一致で承認されました。最後に、第17回大会委員長 坂井 広人 氏(栃木県立博物館)より、大会の概要案が説明されました。特に質問、コメントはありませんでした。以上、皆様のご協力を得まして、滞りなく総会を終了することができました。

日本地衣学会第16回大会に参加して

My Impression for the 16th Annual Meeting of JSL at Kochi, July 2017 / by YAMAGUCHI Haruka

>>>>>> 山口 遼 (秋田県立大学大学院・生物資源科学研究科・博士前期課程1年)

今回初めて地衣学会に参加させていただきました。地衣類の研究を始めて約1年半が経ちましたが、まだまだ知らないことばかりです。今回の大会を通して、地衣類についてどのような視点で、どのような分野の研究がされているかを学び、非常に貴重な体験となりました。

口頭発表では地衣類の分類や遺跡、銅汚染など幅広い分野にわたる地衣類の研究を聞くことができました。原田先生の「最近見つかった変な痂状地衣数種」は、全国各地で発見された新種や日本新産の地衣類の発表でした。私は地衣類の分類に関する知識が非常に浅く、観察の経験も数回程度しかいないため、初めて目にする地衣類ばかりで地衣類の形態の多様性に驚きました。私は天然地衣体から分離培養された地衣菌を材料として普段の実験に扱っているため、天然地衣体に触れる機会が多くはないのですが、これからは観察会などに

積極的に参加し、自分の目で多くの種類の地衣類を見ていきたいと思いました。形態観察や地衣成分の化学分析などが分類に重要な要素であり、様々な観点から調べないと分類できない地衣類が多数あるという点に地衣類の奥深さを感じました。

地衣学会はアットホームな学会で他大学の先生方とたくさんのお話ができ、私の発表に対して的確なアドバイスを頂き、得られたものはとても多かったと思っています。今回の学会の経験や様々な分野の人との交流は、自分の大きな糧となりました。今回の経験を活かして、日々の研究を進め、次の地衣学会大会では皆様にもっと興味を持っていただけるような成果を発表したいです。学会や観察会を通して、私に色々なことを教えて下さった先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378 ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

- *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 147, pp. 549-552; eds. Nakashima H., Bando M., Kawakami H. & Harada H., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 19 Dec. 2017.

日本地衣学会ニュースレター 147号

発行日：2017年 12月 19日

編集：中嶋裕之・坂東誠・川上寛子・原田浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8558神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学 薬化学研究室

©2017日本地衣学会 (© 2017 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。